

通所リハビリテーション（デイケア）

通所リハビリテーション（**デイケア**）とは、要介護者が介護老人保健施設、病院、診療所等に併設された施設、介護医療院に通い、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士等の専門スタッフによる「**機能の維持回復訓練**」や「**日常生活動作訓練**」が受けられるサービスです。

リハビリテーションがメインの通所系サービスで、主治医の指示によって受けることとなっています。

利用者の状態に応じて、個別もしくは集団での訓練になります。

どのような場合に利用すればよいのか

高齢に伴う機能の低下に対して、リハビリテーションを行って機能を回復したいという思いは多くの人が願うことです。しかし、介護者がリハビリテーションに対して過剰な期待を抱くことは、ご本人にとって負担となることもあります。本人の意欲や、主治医から現在の病状と今後の回復の見通し等をしっかりと確認して利用していくことが重要です。

通所リハビリの概算料金

※表示料金は利用者が負担する料金（介護保険の1割）の例です。
（所得金額等により、自己負担金が2～3割になる方がいます）

【要介護の方の利用負担額の目安】（1回につき）

	利用料金
要介護 1～5	762 円～1,379 円

（7 時間以上 8 時間未満の場合）

【要支援の方の利用負担額の目安】（月単位の定額）

	利用料金
要支援 1	2,268 円
要支援 2	4,228 円

- ※ 送迎を含む
- ※ 利用料金は、月間平均利用延べ人数によって定められた規模によって異なります。
通常規模・大規模（Ⅰ、Ⅱ）と三段階の規模があります。
- ※ おやつ代、食事代は別料金です。
- ※ 追加料金（介護報酬加算）が必要な場合があります。提供の有無及び料金については各事業所にお問合せください。



191 医療法人社団慈生会 介護老人保健施設 徳寿園

〒758-0063 萩市大字山田 4147-1
TEL 0838-22-0118 FAX 0838-22-0132

ホームページ <http://hagi-jiseikai.or.jp/>



注目!

身体の動きに関するリハビリはもちろん、通所サービスとしては市内で唯一となる言語聴覚士による言語、飲み込みに関する個別リハビリを受けていただくことができます。

1日の主なスケジュール

8:30 送迎	10:00 到着後、健康チェック	11:00 個別リハビリテーション レクリエーション	12:00 水分補給 口腔体操	12:00 昼食 休憩	14:00 個別リハビリテーション （ゲーム等） 集団レクリエーション	15:00 ティータイム	16:00 送迎
------------	---------------------	----------------------------------	--------------------	----------------	--	-----------------	-------------

管理者 多田 穰治

【対応エリア】 萩市・阿武町

【営業時間】 10:00～16:00

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
	8:30～17:30	TEL・FAX 同上 mail:hagi.jiseikai-daycare@outlook.jp

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	—
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	—
5	腹膜透析をしている方	—
6	痰吸引の必要な方	—
7	気管切開をしている方	—
8	人工呼吸器装着の方	—
9	中心静脈栄養をしている方	—
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	—
12	終末期の方	—
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	—
15	認知症の方	○
16	精神疾患の方	—

受入可→○ 応相談→△ 受入不可→—

192 かわかみ整形通所リハビリテーション

〒758-0011 萩市椿東 2863-7
TEL 0838-21-7566 FAX 0838-21-7138

ホームページ <https://kawakami-clinic.jimdo.com/>



注! 「もう一歩動く喜び動ける幸せ」を理念に専門職の個別リハビリを中心に医療機器、運動機器によるリハビリを特徴とするデイケアです。

1日の主なスケジュール

8:30	9:30	12:30	13:30	15:00	17:00
送迎	個別リハビリ 物理療法・機械運動など	送迎	送迎	個別リハビリ 物理療法・機械運動など	送迎

管理者 川上 俊文

【対応エリア】

【営業時間】 8:30～18:00

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
理学療法士	10:00～17:30	TEL・FAX 同上 mail: oms-riha@friend.ocn.ne.jp

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	—
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	—
7	気管切開をしている方	—
8	人工呼吸器装着の方	—
9	中心静脈栄養をしている方	—
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	—
15	認知症の方	△
16	精神疾患の方	△

193 河野医院

管理者 河野 通裕

〒759-3611 萩市大井 1723-1
TEL 0838-28-0321 FAX 0838-28-1234

ホームページ <https://www.kono-kizuna.jp/>



注!

運動器リハビリはもちろんのこと、内科領域の嚥下機能回復リハビリや呼吸器リハビリも積極的に実施し健康寿命の延長を意識したリハビリテーションの実施をモットーとしています。

1日の主なスケジュール

短時間（2時間未満）通所リハビリを午前と午後提供しています

9:30	10:00	10:30	11:00	14:00	14:30	15:00	15:30
準備体操 バイタル測定	物理療法 自主トレーニング	個別リハビリ	帰宅準備	準備体操 バイタル測定	物理療法 自主トレーニング	個別リハビリ	帰宅準備

【対応エリア】 萩市全域・阿武町全域

【営業時間】 8:30～18:00

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
	8:30～17:30	TEL・FAX 同上

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可：その都度調整し参加

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	○
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	○
7	気管切開をしている方	○
8	人工呼吸器装着の方	○
9	中心静脈栄養をしている方	○
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	○
15	認知症の方	○
16	精神疾患の方	○

受入可→○ 応相談→△ 受入不可→—

194 田町診療所

【管理者】 篠田 陽健

【対応エリア】 萩地域

〒758-0047 萩市東田町 22-8

TEL 0838-24-1234 FAX 0838-24-1122

ホームページ <http://tamachi.net/>



注目!

当院では、2 種類の短時間型通所リハビリを提供しています。
1 時間コースは外来リハビリと同じような感覚で、理学療法士による個別リハビリを中心に、短時間で集中してリハビリを行うことができます。2 時間コースは 1 時間コースの内容に加えて、口腔ケアなどの集団体操や日常生活での動きを取り入れたレクリエーションを行い、日常生活能力の向上を図っています。



※下記は 2 時間コースのスケジュールです。
1 時間コースは午前・午後の内の 65 分間で、下記のスケジュールとは異なります。
詳細はお問合せ下さい。

1日の主なスケジュール

13:00	13:15	14:30	15:05
送迎到着後 バイタルチェック	個別リハビリ 集団体操 歩行練習 マシントレーニング 物理療法など	口腔ケア 集団レクリエーションなど	送迎

◆連携窓口

連携窓口	連絡がしやすい時間帯	連絡方法
相談員	営業時間内	Tel・FAX 同左

◆サービス担当者会議・退院前カンファレンスの参加（可否）

いずれも可：事前の日程調整の必要あり

No	項目	受入の可否
1	経管栄養の方	○
2	ストーマの方	○
3	酸素療法をしている方	○
4	血液透析をしている方	○
5	腹膜透析をしている方	○
6	痰吸引の必要な方	—
7	気管切開をしている方	—
8	人工呼吸器装着の方	—
9	中心静脈栄養をしている方	○
10	留置カテーテルをしている方	○
11	インスリン注射の必要な方	○
12	終末期の方	○
13	神経難病の方	○
14	創傷処置が必要な方	○
15	認知症の方	○
16	精神疾患の方	—

受入可→○ 応相談→△ 受入不可→—



地域包括ケアシステムとは②

地域包括ケアシステムは「住まい」「医療」「介護」「予防」「生活支援」を一体的に提供します。

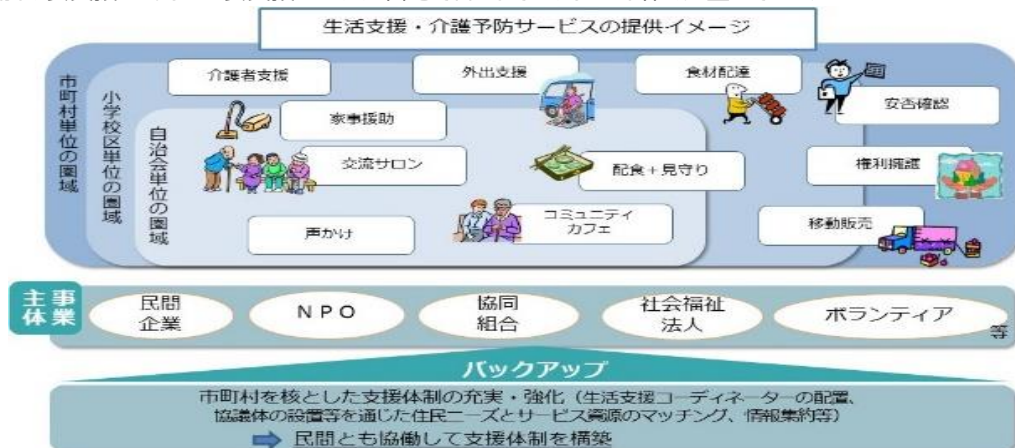
住まいとは自宅やサービス付き高齢者向け住宅等を指し、ここで生活を送ります。

医療は、急性期病院、亜急性期・回復期リハビリ病院の他、かかりつけ医や地域の連携病院を指します。病気になった際の入院などを急性期病院等が担い、日常の医療をかかりつけ医や地域の連携病院が担うという想定になります。

介護は、在宅サービスと施設・居住系サービスに分類されます。

在宅サービスでは訪問介護、訪問看護、通所介護、小規模多機能型居宅介護、短期入所生活介護、24 時間対応の訪問サービス、複合型サービス（小規模多機能型居宅介護＋訪問看護）等を指し、施設・居住系サービスは介護老人福祉施設、介護老人保健施設、認知症共同生活介護、特定施設入所者生活介護等を指します。介護が必要となった時に、自宅からの通所あるいは施設へ入所して介護を受けられるような体制を整えます。

介護予防・生活支援では、老人会、自治体、ボランティア、NPO 法人等が主体となり、カフェやサロンの開催、配食＋見守り、安否確認、食材配達等を行います（図 2）。いつまでも元気に暮らすための仕組みを作っていくものです。また、介護予防サービスを積極的に活用し、要支援 1 あるいは要支援 2 の人も自宅で暮らしていけるような体制を整えています。



（参考：健康長寿ネット）